

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	日本ウェルネススポーツ専門学校広島校
設置者名	学校法人タイケン学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養 専門課程	ウェルネス IT 科	夜・通信	12 単位	6 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.nihonwellness-sport.jp/hiroshima/disclosure/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本ウェルネススポーツ専門学校広島校
設置者名	学校法人タイケン学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

日本ウェルネススポーツ大学 HP 大学情報の公開 https://www.nihonwellness.jp/information/pdf/kessan03_01.pdf ※『令和3年度事業報告』内に記載

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	電気通信会社社員	2022.4.1～ 2026.3.31	組織・総務関係に対する専門的な知見
非常勤	事務機器関連総合商社 役員	2022.4.1～ 2026.3.31	財務関係に関する専門的な知見
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本ウェルネススポーツ専門学校広島校
設置者名	学校法人タイケン学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画作成は以下の手順で行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 2月下旬～3月初旬に適切な到達目標の立て方および到達目標と評価の一致を図ることについてのワークショップまたはガイダンスを学内において実施する 2) 各教員は担当科目についての授業計画を策定し3月中旬に提出する 3) 提出された授業計画の確認と調整：教務主任を中心に専任教員で確認を行い、必要に応じて科目担当教員と再度調整して3月末日までに内容を確定する 4) 4月・新年度開始時のオリエンテーションにて公表する <p>授業計画書には、到達目標と評価方法、評価対象と評価に占める割合、使用教材、各回の授業内容を記載することとする。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>HPに掲載 https://www.nihonwellness-sport.jp/hiroshima/disclosure/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書に定めた各科目の到達目標と評価方法、評価対象と評価に占める割合について、各科目の担当教員は授業開始時に学生たちに案内するとともに、開講後も学期を通して学生たちに意識してもらうことで学習効果の向上を図っている。</p> <p>授業内評価対象物（小テストや実技テスト、各種提出物等）については、その評価を学生が逐次把握できる形をとっており、自分自身の授業での取り組み、到達目標までの位置を把握し、能動的に学習活動に向き合える環境づくりに努めている。</p> <p>また、各科目の最終授業では、学期内の自身の取り組みについて自己評価を行う機会を設けている。到達目標に照らして評価対象物の評価を整理するプロセスは科目担当教員が行う評価と共通しており、評価の客観性を高めるものである。最終成績は、授業内評価対象物に定期試験結果を加え、授業計画書に定めた割合に応じて各担当教員が100点換算を行い、評価を確定する。</p> <p>尚、各科目とも、出席授業数が総授業数の3分の2に満たない場合には定期試験の受験資格が与えられず、単位取得は不可となる。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各科目の成績は、1科目100点満点とし、90点以上をA、80点以上90点未満をB、70点以上80点未満をC、60点以上70点未満をD、60点未満をFとし、D以上で単位を認定する。</p> <p>GPA制度を利用し、授業科目の成績評価を以下の基準で点数化し、その点数を科目の総数で割って算出した平均値により成績分布を把握している。</p> <p>成績評価の点数化は、A=4点、B=3点、C=2点、D=1点、F=0点とする。</p> <p>学生には自身のGPAを個別に通知するとともに、分布の結果については学内掲示およびHPにて公表する。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>HPに掲載</p> <p>https://www.nihonwellness-sport.jp/hiroshima/disclosure/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定・学位授与の方針</p> <p>ウェルネスIT科では、所定の単位を修得し以下の資質を身につけた人に専門士の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの身につけた知識と専門性をもって、地域社会・国際社会に貢献することができる。 ・多様な文化や価値観を持った人々と知的なコミュニケーションをとることができる。 <p>卒業条件</p> <p>成績評価において「A(100～90)」「B(89～80)」「C(79～70)」「D(69～60)」を取得した科目の単位数が62単位以上ある場合に校長が卒業を認定する。</p> <p>卒業判定会議は2年次の2月に行う。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>HPに掲載</p> <p>https://www.nihonwellness-sport.jp/hiroshima/disclosure/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本ウェルネススポーツ専門学校広島校
設置者名	学校法人タイケン学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	日本ウェルネススポーツ大学 HP 大学情報の公開 https://www.nihonwellness.jp/information/pdf/kessan03_01.pdf
収支計算書又は損益計算書	日本ウェルネススポーツ大学 HP 大学情報の公開 https://www.nihonwellness.jp/information/pdf/kessan03_01.pdf
財産目録	日本ウェルネススポーツ大学 HP 大学情報の公開 https://www.nihonwellness.jp/information/pdf/kessan03_01.pdf
事業報告書	日本ウェルネススポーツ大学 HP 大学情報の公開 https://www.nihonwellness.jp/information/pdf/kessan03_01.pdf
監事による監査報告（書）	日本ウェルネススポーツ大学 HP 大学情報の公開 https://www.nihonwellness.jp/information/pdf/kessan03_01.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養分野		文化・教養専門課程	ウェルネスIT科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62 単位時間/単位	34 単位時間/単位	34 単位時間/単位	1 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			69 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		15人	15人	3人	11人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）
<p>12月～1月にかけてカリキュラムの見直しを行い、次年度の方針を決めてから年間授業スケジュールを決定する。</p> <p>その後、以下の手順で科目別に授業計画を作成する。</p> <p>1) 学年末に開く講師会において、適切な到達目標の立て方および到達目標と評価の一致を図ることについてのワークショップまたはガイダンスを実施</p> <p>2) 各科目のシラバスに基づき、各教員が担当科目についての授業計画を策定し提出</p> <p>3) 提出された授業計画の確認と調整：教務主任を中心に専任教員で確認を行い、必要に応じて科目担当教員との再調整を経て内容を確定</p>

成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価は、各科目の授業計画に明記された評価方法、評価対象物、評価割合に基づいて総合的に行われる。最終的に 100 点満点で出した総合評価について、90 点以上を A、80 点以上 90 点未満を B、70 点以上 80 点未満を C、60 点以上 70 点未満を D、60 点未満を F とし、D 以上で単位を認定する。
卒業・進級の認定基準
(卒業の認定基準) 成績評価において「A(100～90)」「B(89～80)」「C(79～70)」「D(69～60)」を取得した科目の単位数が 62 単位以上ある場合に校長が卒業を認定する。 卒業判定会議は 2 年次の 2 月に行う。
(進級の認定基準) ・ 1 年次修了時点で単位が取得できなかった科目が 3 科目以下であること ・ 原則として出席率が 80% を下回っていないこと
学修支援等
(概要) 各自、目標とアクションプランの作成、学期途中および学期末のふりかえりを元に自己評価を行う。担任教員はそれをもとに学期ごとに面談を実施している。学期途中は各科目担当講師と連携し、学生の様子に気になる点が見られた場合にはその都度声がけをし、事情を聞く機会を設けている。対面での相談のほか、電話、SNS による相談も受け付けており、必要に応じて学生の母語による相談機会を設定している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
26人 (100%)	1人 (3.8%)	2人 (7.7%)	23人 (88.5%)
(主な就職、業界等) 製造業、事務・通訳業務			
(就職指導内容) 1 年次：履歴書作成、就職スケジュール案内、面談、ビジネスマナー指導、キャリアデザイン教育、適正テスト、ハローワーク登録、業界研究会開催、インターンシップ参加等 2 年次：面談、面接指導、個別求人案内、合同就職説明会等参加、等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 情報処理技能検定、文書デザイン検定、日本語ワープロ検定、漢字検定等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
53人	12人	22.6%
(中途退学の主な理由) 経済状況の悪化、体調不良、特定技能への在留資格変更が著しく多かった。		

(中退防止・中退者支援のための取組)
 クラス担任教員および卒業生による相談を通して、学生の個人的事情、希望を考慮した上で修学継続に向けたフォローや方法提案を行っている。

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ウェルネス IT 科	20,000 円	550,000 円	100,000 円	施設設備費
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nihonwellness-sport.jp/hiroshima/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
主な評価項目 教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受入れ募集、財務、法令等の遵守 評価委員会の構成 委員の定数…4名 選出区分…地域、関連企業、卒業生 評価の活用方法 2月に自己評価委員会による年度の総括を行い次年度の方針を立てる。それに基づき3月上旬までに評価委員による学校評価を受ける。学校評価の結果によって必要な点については改善を行い、3月末までに次年度の方針を決定する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
広島市安芸区中野日の出青年団 団長	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	地域
IT 企業 代表取締役	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	関連企業
株式会社 社員	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nihonwellness-sport.jp/hiroshima/disclosure/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.nihonwellness-sport.jp/hiroshima/disclosure/>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	日本ウェルネススポーツ専門学校広島校
設置者名	学校法人タイケン学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		0人	0人	0人
内 訳	第Ⅰ区分	0人	0人	
	第Ⅱ区分	0人	0人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				0人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	人
----	---

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人		
「警告」の区分に連続して該当	人		
計	人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	人
3月以上の停学	人
年間計	人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	人
訓告	人
年間計	人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人		
GPA等が下位4分の1	人		
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人		
計	人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。